

令和 5 年 4 月 12 日

【福島大学地域未来デザインセンター】 三春町との共同研究により地域課題解決のための取り組みを開始

福島大学地域未来デザインセンターでは、三春町と地域課題解決のための取り組みとして共同研究「アウトドア環境の創出による地域活性化の検討」を開始します。また、三春町から派遣される職員を共同研究員として受け入れ、研究・実践していきます。

この取り組みは、令和 5 年度から地域未来デザインセンターが自治体と共同で地域課題の解決、地域発展や地域貢献に資する研究の一環です。

福島大学地域未来デザインセンターでは、令和 5 年 4 月より県内市町村職員を共同研究員として受け入れ、本学と自治体が共同で地域課題の解決、地域発展や地域貢献に資する研究を行っていきます。

はじめに 4 月から三春町より派遣される冨塚俊樹主査を共同研究員として受け入れ、本学デザインセンター大越正弘特任教授と共に「アウトドア環境の創出による地域活性化の検討について」を研究課題として、民間企業と連携して実施する、三春町内のアウトドア環境の創出による効果を多角的に検証するとともに、効果的な施策の検討により地域活性化を目的とする研究を 1 年間の予定で行います。

地域未来デザインセンターでは、幸福度の高いふくしまをめざして、ふくしまをフィールドにし、ふくしまの未来発展のために、社会課題解決プロジェクト形成支援、起業・事業開発人材育成、産学官連携の促進、復興支援事業などを通して、新たな未来を構想する高次で豊かな暮らし・地域づくり、産業の育成、人づくりから新しい価値を見出す研究に取り組んでいきます。

(お問い合わせ先)

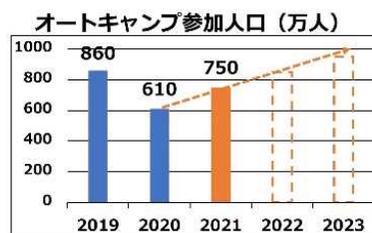
地域未来デザインセンター・特任教授 大越正弘
電話：024-548-8263

研究・地域連携課 地域連携担当 手塚
電話：024-548-8012
メール：designc@adb.fukushima-u.ac.jp

テーマ アウトドア環境の創出による地域活性化

1. 背景

- ・全国的なアウトドア人口の拡大
- ・県内アウトドア環境の充実
(キャンプ場数72か所、全国6位)
- ・アクティビティの多様性
(キャンプ、サイクリング、カヤック、トレッキング等)



2. 三春町の取組

三春の里田園生活館・さくら湖周辺の地域資源

↓ 「アウトドア」「アクティビティ」に着目！

- ・モンベルストアの誘致
- ・キャンプ場やカヤック場の整備



新たな人の流れの創出



3. 福島大学との連携

- ①専門的な知見 ②豊富な人材 ③ネットワーク



共同！活用！研究！

- ・整備した施設への誘客
- ・誘客による経済波及効果
- ・広域的なアウトドア振興



4. 目指す将来像

- ①三春町で持続可能なまちづくりを
②福島県に人を呼び込むゲートウェイに
③全国の『アウトドア』『アクティビティ』を牽引する町に

